

授業改善研修講座 第6学年音楽科学習指導案

日時 9月30日(火) 5校時
場所 第1音楽室等
学級 高松小学校 6年2組
(男子21名、女子17名、計38名)
指導者 高橋浩喜

1 題材名 きれいなひびきで

2 題材について

(1) 学習指導要領とのかかわり

本題材は、指導要領〔第5学年及び6学年〕A表現(1)「音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。」(2)「曲想や音楽を特徴づけている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。」(3)「歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付ける。」に関連する内容である。(1)「音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できる」とは、音楽を聴いて心を動かされ自分も演奏したいという思いや願いをもち、その実現に向けて「音楽を聴いて演奏する」「楽譜を見て演奏する」ための基礎的な能力をしっかりと身につけることである。(2)「曲想などを感じ取って工夫して表現する」とは、歌詞の内容や楽曲の構成を理解して表現を工夫したり、音楽を特徴づけているリズム、旋律などの様々な要素について鋭く感じ取り、それらを生かして曲想を工夫することである。(3)「歌や楽器の演奏の仕方を身に付ける」とは、呼吸や発声、声の出し方に気を付けて歌ったり、楽器の適切な扱い方、演奏の仕方を身に付けることによって、豊かに音楽を表現して楽しむための基礎づくりを行うことである。本題材では、特に、(2)「曲想を工夫して表現する」を重点的に扱い、より美しい歌声や楽器の音色を求めて表現の仕方を工夫したり、声や音が重なり合う美しい響きになるように工夫したりして学習を進めていく。

(2) 題材に関する児童の実態

子供たちはこれまでに、旋律の繰り返しや変化を意識しながら「夢をのせて」を歌ったり、曲のまとまりを意識しながら、「エーデルワイス」をリコーダー合奏したりしてきた。また、「オラリー」をグループごとに簡単な合奏にして、楽しみながら取り組んできた。

歌唱に関しては、変声期を迎えた男子児童が数名いることもあり、高い音を響かせて歌ったり、相手の音を聴いてきれいに合唱したりするところまでいっていない。変声期の児童には、無理をさせずオクターブ下で歌わせたり、合唱では低声部を受け持たせるなどしている。器楽演奏に関しては、リコーダー合奏が大変好きであり、リコーダー曲集からきれいな曲を選び、2パートに分かれてお互いの響きを聴き合って合奏を楽しんでいる。また、グループごとのリコーダーアンサンブルにも意欲的に取り組んでいるが、「間違えないで演奏する」「お互いに合わせて演奏する」ことに止まり、お互いの音を聴いて響きのある演奏を工夫したり、曲にあった速度や強弱などの曲想を工夫したりして表現するところまでいっていない。

(3) 指導の構想

- ①歌唱教材「ふるさと」「広い空の下で」では、歌詞の情景を感じ取った上で、声の出し方に気を付けて旋律が重なり合う美しい響きのある合唱を工夫していくようにする。また、曲にあった速度や強弱等を工夫しながら重唱したり、合唱したりしていく。
- ②器楽教材「風を切って」では、学級を4つのグループに分け、小アンサンブルに仕上げていく。小アンサンブルにすることによって一人一人の役割が大きくなり、責任と自覚を持って演奏に参加するようになる。また、大編成の合奏に比べ、お互いの息づかいを身近に感じながら合わせていくので音に神経をより集中させていくようになる。アンサンブルを仕上げる方法としては、まず鑑賞を通して取り組む楽曲のすばらしさを感じ取らせる。次に楽曲の仕組みや各パートの役割を理解した上でグループごとに楽器を選んでいく。さらに、曲の速度、強弱、バランス、打楽器など、曲の感じを工夫しながら響きのあるアンサンブルに練り上げていく。

最後にお互いの演奏を聴き合い工夫したところを認め合う。

- ③合奏や合唱の練習の際、自分のパートの音をつかむためコンピュータを活用する。一人一人が「風を切って」をコンピュータに入力し、繰り返し聴くことによって効果的に音をつかむことができるようになる。(総合的な学習の時間扱い) また、速度や強弱、バランス等の工夫の際にもコンピュータで作った「風を切って」を聴くことによって、よりはっきりとした工夫の観点を示すことができる。

3 題材の目標

- ・人の声の特徴を聴いて美しさを味わったり、いろいろな楽器の音色を生かしたりして、美しい響きで表現することができるようにする。
- ・三部合唱の響きを味わって歌うことができるようにする。

4 教材

- ア 山田耕筰の歌曲
- イ ふるさと
- ウ 風を切って
- エ 広い空の下で

5 題材の評価規準

- (1) 人の声や楽器の音色に関心をもって、美しい響きで表現しようとしている。(関心・意欲・態度)
- (2) 人の声や楽器の音色の特徴を感じ取って、美しい響きを求めた表現を工夫している。(感受・表現の工夫)
- (3) 重なり合う声の響きや楽器の音色に気を付けて、合唱したり合奏したりすることができる。
(表現の技能)
- (4) 響きの美しさや、演奏形態による表現の違いを感じ取って聴くことができる。(鑑賞の能力)

6 指導計画

次	ねらい	時	学 習 活 動	評価規準				教 材					
				(1)	(2)	(3)	(4)	ア	イ	ウ	エ		
1	人の声の特徴を聴いて美しさを味わったり、声の響きに気を付けて歌ったりする。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・歌声によるいろいろな演奏形態の違いや美しさを味わって聴く。 ・情景を想像しながら発声や発音に気を付けて歌う。 	○			◎						
2	声の出し方や楽器の音色を工夫して、合唱したり合奏したりする。	3	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの響きを確かめながら合唱表現を工夫する。 ・曲の感じや各パートの役割をつかんでグループごとに練習する。 		○	◎	○						
3	声や楽器の音色の特徴を生かし、その重なり合う響きを味わいながら表現する。	5 本時 4/5	<ul style="list-style-type: none"> ・曲の山や強弱の変化を生かして、表情豊かに三部合唱する。 ・楽器の音色や重なり合う響きを聞き合って、表情豊かなバランスのよい合奏に仕上げる。 	○	◎	◎							

7 本時の学習指導

(1) 本時の目標

グループごとに曲の速さやバランス、強弱などの表現の工夫をして、ひびきのある美しい合奏をつくり上げる。

(2) 本時の評価規準

評価規準	評価規準A	評価規準B	評価規準C	C児童への支援
速さや強弱など表現の工夫をして演奏している。	速さや強弱など表現の工夫を進んで行い、美しい響きのある演奏をしている。	速さや強弱など表現の工夫をして演奏している。	演奏することが精一杯で、表現の工夫をすることができない。	相手の音をよく聴き、1つの要素だけでも工夫できるよう支援する。

(3) 展開

学 習 活 動	○教師の支援 ◇評価
1 既習曲の演奏 ○ふるさと ○リコーダー合奏 2 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 曲の感じを工夫して、「風を切って」をきれいに合奏しよう。 </div>	○既習曲を歌ったり、リコーダー曲を演奏したりして音楽的雰囲気をつくる。
3 課題を解決する。 (1) コンピュータで「風を切って」の様々な演奏を聴く。 (2) 工夫する点について話し合いながら練習をする。 (3) グループごとに発表しあう。 ①工夫した点について発表する。 ②グループで演奏する。 ③よい点について中心に感想発表する。 4 学習のまとめをする。	○速さやバランス、強弱等、曲の感じの異なる演奏を聴き、自分たちの演奏の参考にする。 ○カードに、「速さ・バランス・強弱」などの工夫する点を記入することによって、練習の観点をはっきりさせるようにする。 ○子供たちが考えた「曲の感じの工夫」にそってアンサンブルできるよう支援する。 ◇速さや強弱など表現の工夫をして演奏することができたか。

風を切つて

—合奏の仕組み—

【楽器の例】

① 主せんりつ

リコーダー、けんハモ、
鉄きん、ピアノ、
シンセサイザー、
サククスなど

② 対せんりつ

③ かざりパート

木きん、ピアノ

④ 吹き流し

オルガン、けんハモ

⑤ 低音楽器

オルガン、シンセサイザー

曲の感じを工夫しよう

グループ

1 曲の速さは？ (= 1 2 0 ~ 1 3 2)

=

2 バランス

パートを大きめに演奏する

パートを小さめに演奏する

3 強弱

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

かぜー を きって すすーむ そりー こどーくな たびーしろのー せかいー ひ

11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

た-すらかなたへー あえーぎながらー こおるてあしにー いのち たくしてー ひょうがに きえた

4 その他工夫すること

風を切って 合奏 パート分担表



グループ

メンバー

◎	○		

合奏パート

パート	パート名	楽器の例	使用楽器	演奏者名
①	主せんりつ	リコーダー けんハモ 鉄きん ピアノ		
②	対せんりつ	シンセサイザー サクソ など		
③	かざりパート	木きん ピアノ など		
④	吹き流し	オルガン けんハモ など		
⑤	低音楽器	オルガン シンセサイザー		

「風を切って」を入力して曲を覚えよう

1 題名をつける

名前

- ① せってい
- ② 題名を付ける
- ③ 「風を切って」と入力



2 へ長調にする

3 4/4拍子にする。

4 ^{おんぶ}音符をはりつける。

- ① アイコンバーから音符を選んで、赤い線のところにはりつける。

- ② まちがったら、右クリック

5 1行完成したら演奏してみよう。

- ① 再生
- ② 速さを変える。 ウサギとカメマーク
- ③ 楽器を変える。
 アイコンバー ピアノマーク→別の楽器

6 続きも入力しよう！

7 中音部の入力

- ① へんしゅう
- ② パート
- ③ ふやす
- ④ しゆるい
- ⑤ OK

8 低音部の入力

9 保存をしよう

- ① ファイル
- ② 名前を付けて保存
- ③ ポケットー名前002
- ④ ファイル名ー「風を切って」
- ⑤ 保存ボタン
- ⑥ ×